

資料3

課題解決技術支援ツール(試行版)の
アクセス状況等について

1 令和7年度のアクセス状況

- ✓ 課題解決技術支援ツール(試行版)について、アクセス状況等の記録を実施(報告期間:令和7年4月~令和8年1月末)
- ✓ 令和7年5月19日、20日にアクセス数が激増(本資料p.4,5)
 - 5月19日発行の上下水道ホットインフォメーションで本ツールを紹介したことが原因として考えられる。
- ✓ 令和6年度同様、東京都、大阪府からのアクセスが多いが、本会議と関連の薄い市町村も含め全国からアクセスされている(本資料p.6,7)
 - 全国的にある程度の認知はされている
- ✓ 昨年度、あまり選択されていなかった、「時間や水深、流速の制約で点検調査が進んでいない」が上位に入っている。(本資料p.8,9)
 - 八潮を踏まえた特別重点調査が影響していると考えられる。

2 今後の方向性

- ✓ AI活用との連携について
 - AIが良質な回答を提供するためには、聞き手の工夫のほか、適切な情報が公表されていることが必要である。今後、「AIが情報を取得する場」を念頭に本ツールの改良整備を行う。

- ✓ 利用促進広報について
 - 既存の媒体を用いて広報を実施すると共に、2年連続アクセスがなかった4県(福島、徳島、愛媛、熊本)自治体と意見交換を行い、当該自治体の認知度向上及びニーズ把握を踏まえた広報も行う。

- ✓ 技術情報の更新について
 - 自治体等のニーズに応じた検索をされているため、本ツールでは、関心度に応じた幅広い技術情報を提供できるように更新を行う。

令和7年4月～令和8年1月のアクセス状況

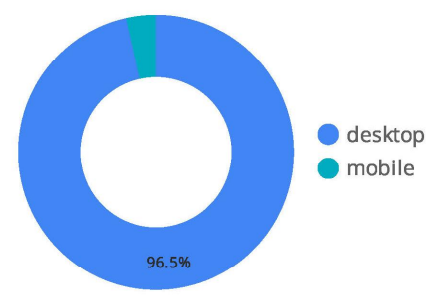
今年度のアクセスデータ全体

TOTAL 1year

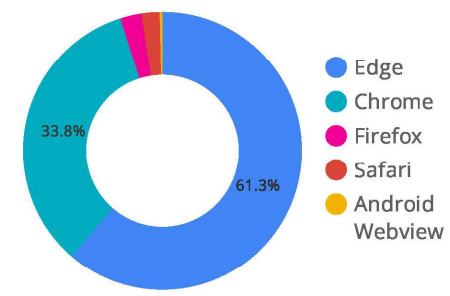
アクティブユーザー数
284

訪問回数
348

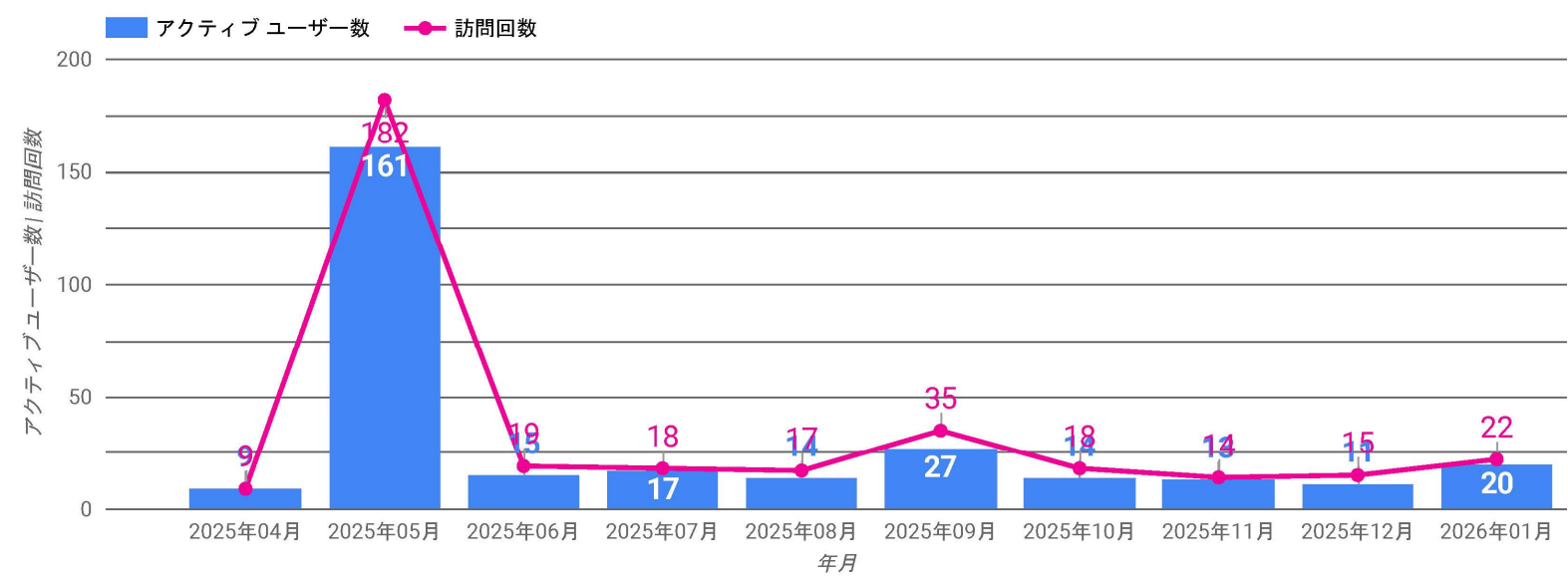
アクセスデバイス



アクセスブラウザ



ユーザー数



■アクティブユーザー数
特定の期間内にサイトを訪れたユーザーの数を表す指標。期間内であれば、同じユーザーが何度サイトを訪問してもアクティブユーザー数は1となります。

■訪問回数
同じ人の再訪も含めて、サイトが利用された回数です。例えば1人が別の日にもう1回来た場合、訪問回数は2回になります。

- アクセスデバイス
- ・ desktop : デスクトップ
 - ・ mobile : スマートフォン
 - ・ tablet : タブレット

- アクセスブラウザ
- ・ Google Chrome (クローム)
 - ・ Safari (サファリ)
 - ・ Microsoft Edge (エッジ)
 - ・ Mozilla Firefox (ファイアフォックス)
 - ・ Opera (オペラ)

【参考】令和7年5月のアクセス状況

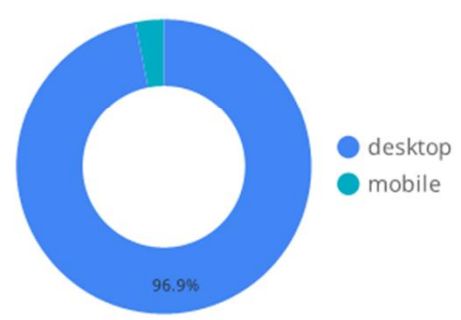
今月のアクセスデータ全体

TOTAL 1month

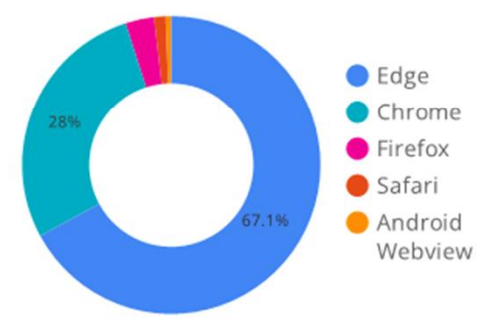
アクティブユーザー数
161

訪問回数
182

アクセスデバイス

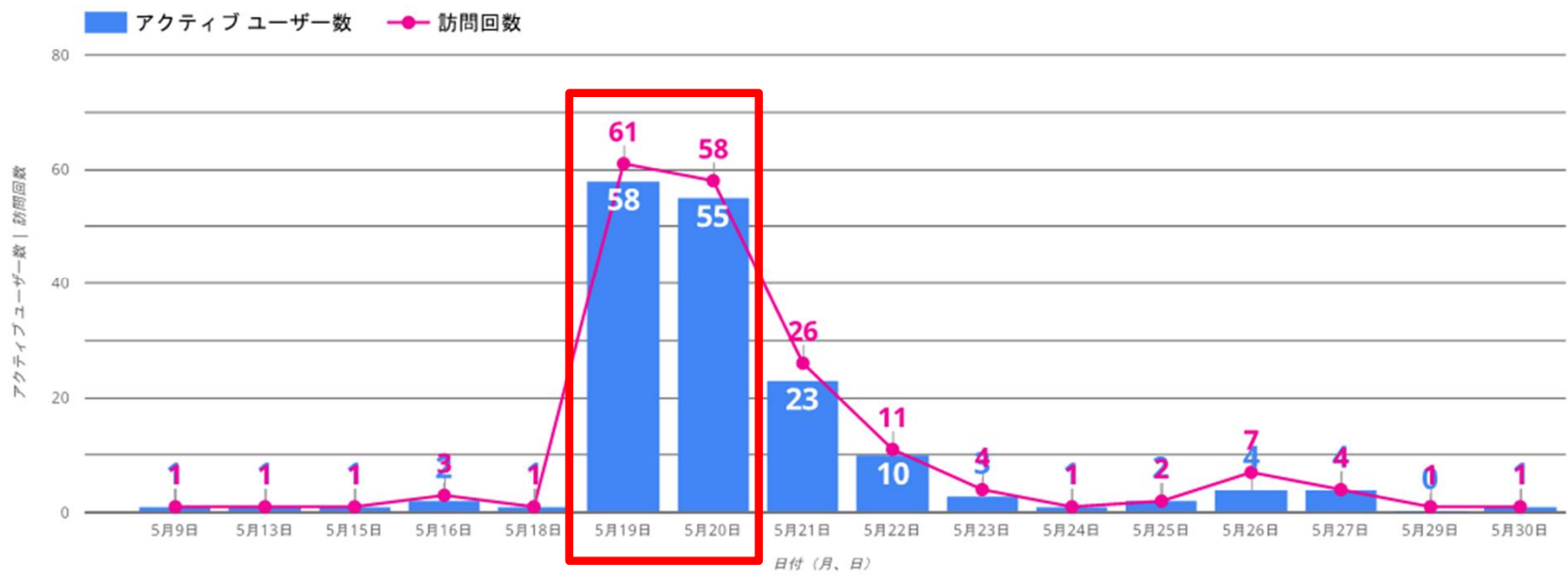


アクセスブラウザ



日付	アクティブ...	セッション
2025/05/09	1	1
2025/05/13	1	1
2025/05/15	1	1
2025/05/16	2	3
2025/05/18	1	1
2025/05/19	58	61
2025/05/20	55	58
2025/05/21	23	26
2025/05/22	10	11
2025/05/23	3	4
2025/05/24	1	1
2025/05/25	2	2
2025/05/26	4	7
2025/05/27	4	4
2025/05/29	0	1
2025/05/30	1	1

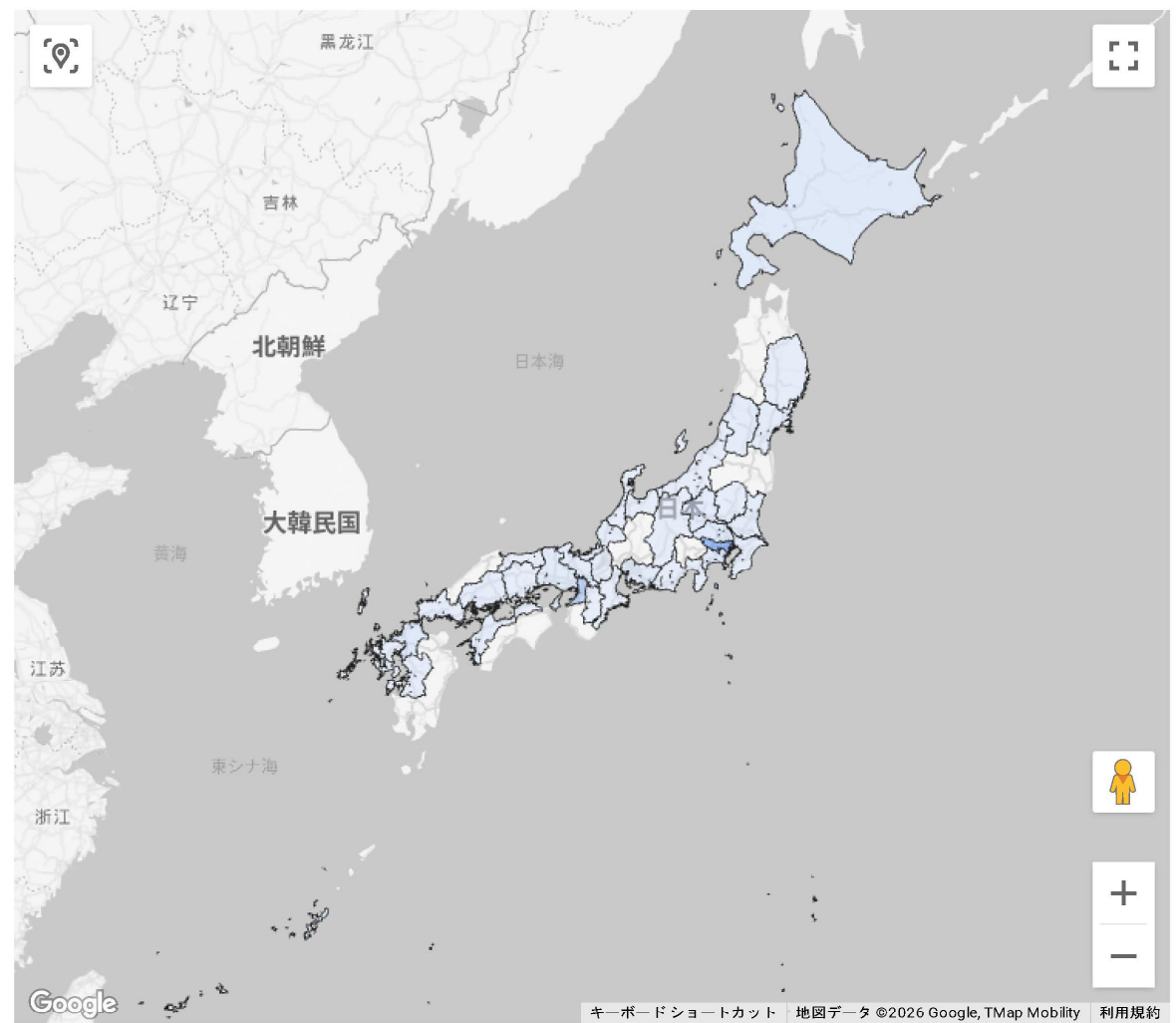
ユーザー数



令和7年4月～令和8年1月のアクセス状況

今年度のアクセス地域

市区町村

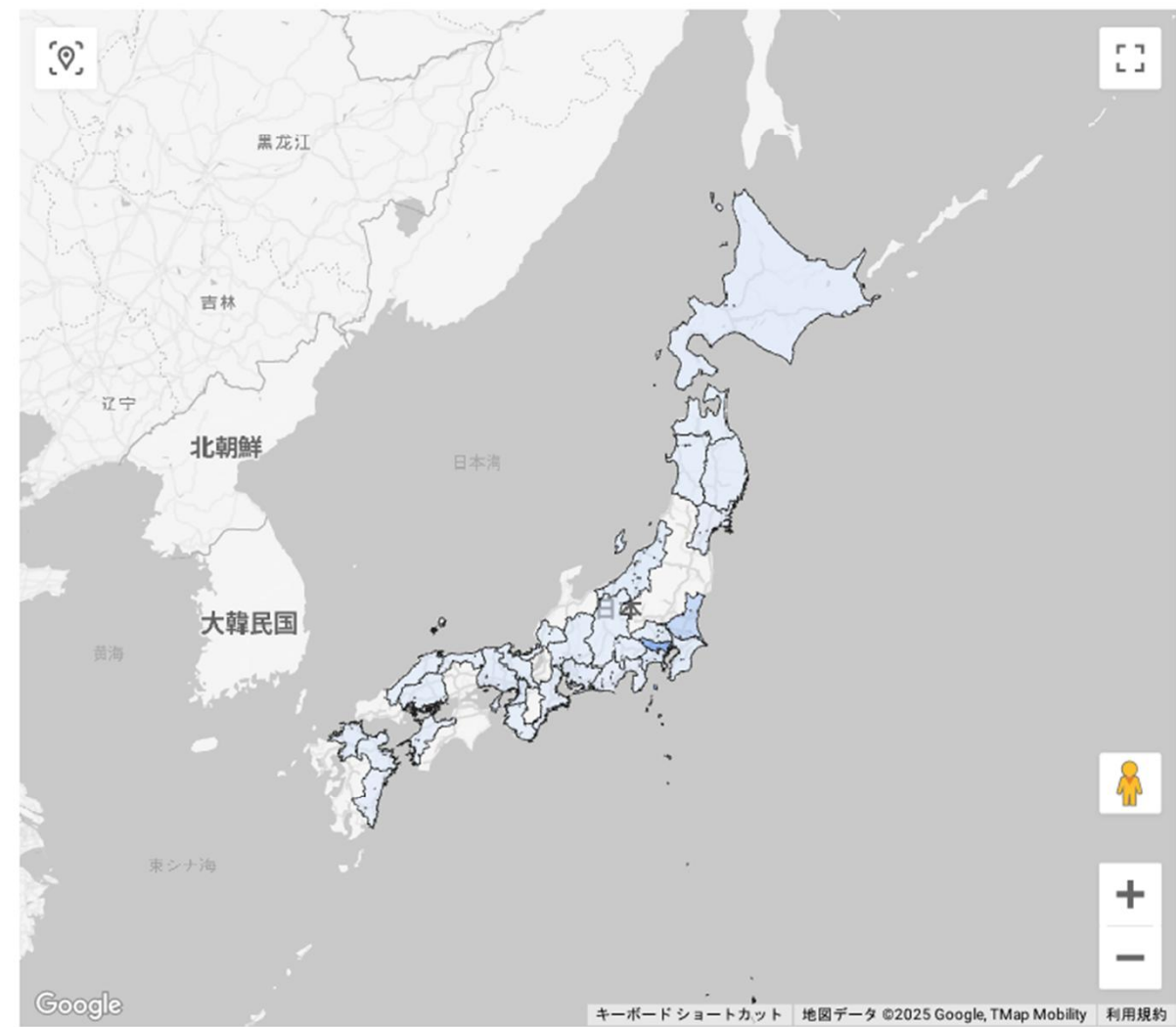


地域	アクティブユーザー数	地域	アクティブユーザー数
1. Tokyo	97	26. Shiga	2
2. Osaka	46	27. Shizuoka	2
3. Fukuoka	11	28. Toyama	2
4. Kanagawa	10	29. Yamaguchi	2
5. Hokkaido	9	30. Mie	1
6. Saitama	8	31. Nagasaki	1
7. Aichi	7	32. Nara	1
8. Hyogo	7	33. Okayama	1
9. Gunma	6	34. Saga	1
10. Kyoto	5	35. Tottori	1
11. Miyagi	5		
12. Yamagata	5		
13. Ehime	4		
14. Ibaraki	4		
15. Okinawa	3		
16. Fukui	3		
17. Hiroshima	3		
18. Chiba	3		
19. Tochigi	3		
20. Ishikawa	2		
21. Iwate	2		
22. Kagawa	2		
23. Kumamoto	2		
24. Nagano	2		
25. Niigata	2		

【参考】R6年度(4月～3月)のアクセス状況

今年度のアクセス地域

市区町村



地域	アクティブユーザー数	地域	アクティブユーザー数
1. Tokyo	130	26. Oita	1
2. Osaka	25	27. Shimane	1
3. Ibaraki	17	28. Shizuoka	1
4. Kanagawa	13	29. Wakayama	1
5. Chiba	12	30. Yamanashi	1
6. Aichi	10		
7. Niigata	10		
8. Hokkaido	7		
9. Hyogo	7		
10. Iwate	7		
11. Fukuoka	5		
12. Kyoto	5		
13. Saitama	5		
14. (not set)	4		
15. Mie	3		
16. Akita	2		
17. Gifu	2		
18. Hiroshima	2		
19. Miyagi	2		
20. Tottori	2		
21. Aomori	1		
22. Ehime	1		
23. Fukui	1		
24. Miyazaki	1		
25. Nagano	1		

表示回数 0 233

令和7年4月～令和8年1月のアクセス状況

ボタンクリック数

※自治体ページの下部の課題選択ボタンも含む

① 事業運営上の課題

ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 事業運営費不足	51	34
2. 人員不足	65	51
3. 老朽化施設の増大	80	57

② 施設区分

ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 管きょ・マンホールポンプ	96	61
2. ポンプ場・処理場	74	49

③ 技術的課題



ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 下水熱利用が進んでいない	4	4
2. 処理場の維持管理の負担が大きい(コスト, 人員)	25	22
3. 処理場施設の劣化診断が進んでいない	12	8
4. 処理場施設の耐震化が進んでいない	7	7
5. 処理設備の仮設に課題がある(災害時, 更新時)	6	2
6. 時間や水深, 流速の制約で点検調査が進んでいない	26	17
7. 水処理施設の修繕・改築費用が高額である	9	8
8. 水処理施設の処理能力向上・高度処理化に課題がある	2	2
9. 水処理施設の電力費・薬品費削減に課題がある	1	1
10. 汚泥処理施設の修繕・改築費用が高額である	7	6
11. 汚泥処理施設の処理能力向上に課題がある	2	2
12. 汚泥処理施設の電力費・燃料費削減に課題がある	0	0
13. 汚泥有効利用や創エネが進んでいない	3	2
14. 流入水量減少により施設能力が過大となっている	5	4
15. 浸水対策(計画降雨以上の内水氾濫対策)に課題がある	6	6
16. 管路施設の修繕・改築に課題がある(施工条件, 仮...)	17	12
17. 管路施設の修繕・改築費用が高額である	12	11
18. 管路施設の劣化診断が進んでいない	28	21
19. 管路施設の維持管理の負担が大きい(コスト, 人員)	11	11
20. 管路施設の耐震化が進んでいない	10	10
21. 管路施設の耐食性・耐候性の確保に課題がある	1	1
22. 管路施設の遠隔監視体制を確立する必要がある	0	0
23. 長距離・スパン全長の点検調査が進んでいない	3	3
24. 降雨時の流下能力の確保に課題がある	8	8
25. 雨天時浸入水・不明水のスクリーニング調査量が膨...	2	2

【参考】R6年度(4月～3月)のアクセス状況

ボタンクリック数

※自治体ページの下部の課題選択ボタンも含む

① 事業運営上の課題

ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 事業運営費不足	63	35
2. 人員不足	45	28
3. 老朽化施設の増大	60	42

② 施設区分

ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 管きよ・マンホールポンプ	64	37
2. ポンプ場・処理場	49	35

③ 技術的課題



ボタン名	イベント数	総ユーザー数
1. 下水熱利用が進んでいない	9	8
2. 処理場の維持管理の負担が大きい(コスト、人員)	28	18
3. 処理場施設の劣化診断が進んでいない	12	10
4. 処理場施設の耐震化が進んでいない	4	4
5. 処理設備の仮設に課題がある(災害時、更新時)	3	3
6. 時間や水深、流速の制約で点検調査が進んでいない	6	4
7. 水処理施設の修繕・改築費用が高額である	10	6
8. 水処理施設の処理能力向上・高度処理化に課題がある	2	2
9. 水処理施設の電力費・薬品費削減に課題がある	4	1
10. 汚泥処理施設の修繕・改築費用が高額である	5	3
11. 汚泥処理施設の処理能力向上に課題がある	1	1
12. 汚泥処理施設の電力費・燃料費削減に課題がある	2	2
13. 汚泥有効利用や創エネが進んでいない	1	1
14. 流入水量減少により施設能力が過大となっている	7	5
15. 浸水対策(計画降雨以上の内水氾濫対策)に課題がある	2	1
16. 管路施設の修繕・改築に課題がある(施工条件、仮...)	3	3
17. 管路施設の修繕・改築費用が高額である	8	5
18. 管路施設の劣化診断が進んでいない	20	15
19. 管路施設の維持管理の負担が大きい(コスト、人員)	6	6
20. 管路施設の耐震化が進んでいない	10	7
21. 管路施設の耐食性・耐候性の確保に課題がある	9	6
22. 管路施設の遠隔監視体制を確立する必要がある	1	1
23. 長距離・スパン全長の点検調査が進んでいない	4	3
24. 降雨時の流下能力の確保に課題がある	2	2
25. 雨天時浸入水・不明水のスクリーニング調査量が膨...	7	5